

2016 年度後期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—社会イノベーション研究科—

社会イノベーション研究科長 古川 良治

大学院の授業については、全 14 項目のうち 13 項目において、5 点満点で平均が 4.50 を超えており、概ね良好な評価が得られていた。最も評価が高かったのは「総合的にこの授業を評価できる」(4.94)であり、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」(4.93)、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」(4.90)、「授業への教員の熱意を感じた」(4.88)、「教員は授業時間を有効に利用した」(4.87)、「この分野の関心と学力が得られた」(4.86) と僅差で続いている。

また、「総合的にこの授業を評価できる」と他の項目の相関はいずれもそれほど高くはないが、その中で「この分野の関心と学力が得られた」「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」「授業への教員の熱意を感じた」「教員は授業時間を有効に利用した」が比較的高い相関を示していたことから、こういった点に留意しつつ授業を行うことにより、より充実した授業を行っていくことが望まれるものと考えられる。